



編集・発行



社会福祉法人
沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1
TEL.098-884-3173 (代) FAX.098-882-5688

✉ o.fukusi@okinawa-j.jp
🌐 http://www.okinawa-j.jp/



にしのもり入園式写真（0歳児）

3ヶ月がたち子ども達は、少しずつ新しい環境・保育士にも慣れ笑顔で過ごせるようになっていきます。「ひろいおにわでみどりがいっぱい おはなもえがおもさいている ちようちよもむしも くよーなーら つきやまのぼってやつほつほ みなみのしまの たのしい たのしいはいくえん にしのもり にしのもりはいくえん」にしのもり保育園の環境をみたことのある法人職員の皆様は、子ども達が園ですぐ様子子が想像できる歌詞だと思います。「日本最南端の風土で育つたくましく、やさしい子」の保育理念を基盤に、子ども一人、ひとりの気持ちに丁寧な寄り添いながら子ども達を援助していきたいと思えます。

開園して9回目の入園式は、4月1日に行われました。くわー1組（0歳児）9名、まつい組（1歳児）8名、たき組（2歳児）3名、あざに（3歳児）4名、くば組（4歳児）3名、計27名の子ども達が入園しました。進級児もあわせると、園児数は96名です。

保護者の皆様方にとっても、園との関りがスタートし、我が子を初めて集団に預ける期待と不安が入り混じった気持ちで、入園式に出席していたことと思います。式では、担任より、新入児の紹介が行われました。名前を呼ばれると保護者の方に抱かれながら、一緒に手をあげたりする姿が見られ会場は、笑顔と温かな拍手に包まれました。また、新ふくん組（5歳児）の子ども達がお祝いに、にしのもり保育園のうたを元気にうたってくれました。緊張しながらも年長児として歌う姿は頼もしかったです。

主任保育士
なかもり くみ
仲盛 久美



開園して9回目の入園式



令和8年度沖縄県社会福祉事業団事業計画

I 事業運営の重点事項

- ① 経営基盤の強化(収支改善)
 - ・各施設の利用率、職員配置、収支状況を毎月分析。
 - ・経営改善につながる課題抽出と対策を実施。
 - ・コスト意識を高め、効率的な事業運営を推進。
- ② 人材確保・定着の強化
 - ・求人活動の強化。
 - ・特定技能外国人の受入れ推進。
 - ・多様な採用手法を活用し人材確保を図る。
- ③ ICT活用・生産性向上
 - ・ICT機器・介護機器の導入検討。
 - ・業務標準書の見直しと業務改善。
 - ・補助金を活用した介護DXを推進。
- ④ 施設整備・設備更新
 - ・非常用発電機、火災報知設備、厨房設備、空調設備等を更新。
 - ・防犯カメラ設置を実施。
 - ・沖縄療育園改築に向けた県有地取得協議を継続。

II 利用者に対する姿勢

- ① 人権の尊重
 - ・虐待防止と不適切支援の根絶を徹底。
 - ・倫理委員会による課題確認と改善。
 - ・全職員への虐待防止研修実施。
 - ・苦情・要望への適切な対応と情報公開。
- ② サービスの質向上
 - ・業務標準書・手順書の整備。
 - ・事故分析と再発防止の徹底。
 - ・個別支援計画の適切な作成とモニタリング。

III 社会に対する姿勢

- ・施設自己評価による継続的改善。
- ③ 地域との関係継続
 - ・行政機関との連携強化。
 - ・養護老人ホームのあり方検討に参画。
- ④ 生活環境・利用環境向上
 - ・BCP事業継続計画の訓練・見直し。
 - ・沖縄療育園改築、湛水学園小規模化の検討推進。

IV 人材に対する姿勢

- ① 人材マネジメント推進
 - ・経営理念・組織価値観の浸透。
 - ・人事考課制度の定着。
 - ・業務標準書見直しとICT活用。
 - ・業務負担軽減と生産性向上。
- ② 人材確保
 - ・障害者雇用の推進。
 - ・外国人材受入れの推進。
 - ・求人広告の充実。
 - ・職員紹介制度の活用。
- ③ 人材定着
 - ・新規採用職員へのフォローアップ。
 - ・離職防止対策の実施。

V マネジメントに対する姿勢

- ・メンター制度導入の検討。
- ・働き方改革への対応。
- ④ 人材育成
 - ・人材育成方針・要綱の策定。
 - ・OJT・OFFJT・自己啓発支援の充実。
 - ・資格取得支援。
 - ・ハラスメント防止研修の実施。
- ① 法令遵守
 - ・法定委員会・研修等の実施状況確認。
 - ・報酬請求や加算算定の適正化。
 - ・内部監査によるチェック強化。
 - ・制度改正への迅速な対応。
- ② ガバナンス強化
 - ・理事会機能の強化。
 - ・全施設を対象とした内部監査実施。
 - ・経営対策監会議等による進捗管理。
- ③ 健全な財務規律
 - ・月次経営分析の実施。
 - ・管理会計導入による収支改善。
 - ・利用率向上と適正収益確保。
 - ・会計処理の適正化。
- ④ 経営管理者の役割
 - ・外部環境・内部環境の分析。
 - ・経営課題への迅速な対応。
 - ・次世代管理職の育成。
 - ・管理者自身の継続的な自己研鑽。

令和8年度 資金収支予算書

勘定科目			法人全体		
大区分			当年度予算額①	前年度予算額②	増減①-②
事業活動	収入	事業活動収入計	4,649,491	4,552,113	97,378
	支出	事業活動支出計	4,552,248	4,468,320	83,928
		事業活動資金収支差額	97,243	83,793	13,450
施設整備等	収入	施設整備等収入	0	3,659	△ 3,659
	支出	施設整備等支出	65,388	73,872	△ 8,484
		施設整備等資金収支差額	△ 65,388	△ 70,213	4,825
その他の活動	収入	その他の活動収入	278,883	331,547	△ 52,664
	支出	その他の活動支出	279,845	280,427	△ 582
		その他の活動資金収支差額	△ 962	51,120	△ 52,082
予備費			50,000	49,500	500
当期資金収支差額			△ 19,107	15,200	△ 34,307
前期末支払資金残高			1,077,328	1,101,542	△ 24,214
当期末支払資金残高			1,058,221	1,116,742	△ 58,521

(単位:千円)

令和7年度事業計画に対する取組結果

利用者に対する姿勢

成果(できたこと)

- ・人権・虐待防止…事務局と各施設が連携して虐待防止研修を実施。苦情・要望(投書箱等)の処理結果をホームページで公表。
- ・虐待の疑いがある事案には施設長を中心に関与を取りを行い、事務局へ報告を行った。
- ・SS・3M活動…業務標準書等の改訂には至らなかったが、各施設でSS(整理・整頓・清掃・清潔・習慣化)および3M(ムダ・ムラ・ムリ)活動を実施し、生産性向上に努めた。
- ・高齢施設会議の開催…高齢施設間で課題共有および改善に向けた取組を行った。
- ・事故再発防止…事故発生時の事実確認と関係機関への報告、および事務局からの助言・確認による再発防止を徹底した。
- ・計画書・モニタリングの確認…サービステクニカル計画の手続きやモニタリング記録の適切性を内部監査で確認し、監事からの助言を受けた。
- ・養護老人ホームの検討…県の検討委員会に理事長が参加し、定員減床後の活用方策(特定施設入居者生活介護や契約入所等)について意見交換を行った。
- ・BCP(事業継続計画)研修…感染症や自然災害に備えたBCPの机上訓練研修を実施した。
- ・施設改築等の事前協議…沖縄療育園の改築および渚水学園の小規模化について、土地条件や補助制度等の事前協議に向けた取組(協議・情報共有)を行った。
- ・課題(できなかったこと・要改善)

社会に対する姿勢

- ・職員倫理委員会設置要綱に基づく報告の提出が未実施の施設があった。
- ・他種別(高齢以外)の施設会議については開催に至らなかった。
- ・県監査において、災害備蓄品の確保状況について改善を要する事項が確認された。

人材に対する姿勢

成果(できたこと)

- ・地域における公益的な取組
 - ・名護厚生園による地域包括支援センター運営事業の継続受託。
 - ・渚水学園による「にじいろ塾」(子どもの居場所運営支援事業…週2回)の実施。
 - ・具志川・名護・宮古・八重山の4厚生園での居住支援(一時保護事業)の実施。
 - ・あけぼの学園での障害者虐待防止に係る緊急一時保護の受入体制整備。
- ・信頼と協力を得るための情報発信…財務諸表、公益的活動、苦情・要望の対応状況(年2回…六月・十二月)、法人機関紙、組合誌および各施設機関紙を法人ホームページに掲載、公表した。

課題(できなかったこと・要改善)

- ・管理職向け研修の実施…管理職を対象に「組織マネジメント」「チームビルディング」「ハラスメント」に関する研修を実施。経営理念をミーティング等で職員へ周知した。
- ・ICT導入の推進…高齢施設における生産性向上委員会の状況を把握し、介護ソフトラマーカー2社の説明会や導入施設の視察を実施、選定を進めた。
- ・高卒者等の採用強化…各施設課長と事務局が高校訪問を実施し、就職説明を行った。また、事務局と施設が連携して就職フェアへ参加した。
- ・処遇改善…登用制度の創設…フルタイム無期雇用介護員を正規枠を経ずに「第II種職員」へ登用できる制度を創設し、令和7年度は2名を登用。
- ・処遇改善手当の一本化による全職員一律支給への見直しを行い、新規採用者の月額賃金改善に近づけた。
- ・職員推薦紹介制度の促進…経営対策監会議で実績を共有し、令和7年度は十六名の採用に至った。
- ・業務改善の伴走支援…県の業務改善伴走支援(具志川厚生園)および業務改善プログラム

社会に対する姿勢

- ・ラム(名護・八重山厚生園)の計3施設で支援を受けながら取り組んだ。
- ・資格・研修の管理…介護支援専門員(ケアマネジャー)の法定研修有効期限を事務局で管理し、計画的な受講調整を行った。また、オンライン・集合での主催研修を実施した。
- ・外部コンサルタントの活用…高齢施設において月1回の経営会議、および全施設管理職を対象としたコンサルタント研修を年3回開催し、経営・収支改善を図った。
- ・課題(できなかったこと・要改善)

社会に対する姿勢

- ・「働き方の指針に係る評価」が、沖縄療育園、名護厚生園、具志川厚生園、事務局において実施に至らなかった。また、一部施設でフィードバック面談が実施できず、次年度の計画の調整が課題となった。
- ・業務標準書の見直し検討に至らなかったため、活用状況の評価も行えなかった。その結果、研修の一元化体制の整備にも至っていない。
- ・「採用1年未満職員への面接」が、退職・病休等の影響により一部施設で実施できず、記録管理が不十分な施設もあった(実施体制と記録管理の徹底が課題)。
- ・メンター制度の導入は、介護職員確保等の課題があり具体的な検討に至らなかった。
- ・DVDライブラリーの貸出実績がなかった。
- ・「人材育成要綱」は案の作成に留まり、一部施設の人事考課・面談の試行実施が不十分なため本格実施に至っていない。
- ・マネジメントに対する姿勢

社会に対する姿勢

- ・象とした内部監査を実施した(企画課・経営管理課・総務課それぞれが専門の監査の着眼点をもって実施)。
- ・コンプライアンス(法令遵守)…内部監査での法定研修・訓練の実施状況確認や、個別支援計画策定の一連の手続き(アセスメント・モニタリング)の確認を行い、不適合事項の改善に取り組んだ。
- ・財務改善(収入増への取組)…
 - 一定所得のある利用者の食費単価の増額改定。
 - 日用品等(介護保険外サービス)の実費相当額の利用者負担への見直し。
 - 都屋の里の定員変更(五十人→四十人)に伴う報酬単価改定による収入増。
 - 北嶺学園およびあけぼの学園での「重度障害者支援加算」取得による収入増。
- ・契約・出納事務の是正…内部監査において契約事務や出納業務を重点的にを行い、商品券等に係る貯蔵品受払簿の不整備等について改善指導・是正に取り組んだ。
- ・経営管理者としての動き…外部環境(報酬改定等)や内部環境(苦情、事故、利用率、人事考課等)の把握に努め、管理者が指導・助言を行いながら課題解決と次世代経営層の育成に取り組んだ。
- ・課題(できなかったこと・要改善)

令和6年度 決算報告

資金収支計算書

(自)令和7年4月1日(至)令和8年3月31日 (単位:千円)

勘定科目 大区分		決算額
事業活動	事業活動収入計	4,327,549
	事業活動支出計	4,188,970
	事業活動資金収支差額	138,579
施設整備等	施設整備等収入計	4,247
	施設整備等支出計	61,362
	施設整備等資金収支差額	△ 57,115
その他の活動	その他の活動収入計	32,673
	その他の活動支出計	168,211
	その他の活動資金収支差額	△ 135,538
当期資金収支差額		△ 54,074
前期末支払資金残高		1,155,967
当期末支払資金残高		1,101,893

事業活動計算書

(自)令和7年4月1日(至)令和8年3月31日 (単位:千円)

勘定科目 大区分		決算額
サービス活動	サービス活動収益計	4,301,329
	サービス活動費用計	4,266,990
	サービス活動増減差額	34,339
サービス活動外	サービス活動外収益計	26,220
	サービス活動外費用計	1,616
	サービス活動外増減差額	24,604
経常増減差額		58,943
特別増減	特別収益計	7,584
	特別費用計	4,372
	特別増減差額	3,212
当期活動増減差額		62,155
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	2,432,844
	当期末繰越活動増減差額	2,494,999
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	150,000
次期繰越活動増減差額		2,344,999

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産 (徴収不能引当金)	1,352,881 (△414)	流動負債	368,397
		固定負債	260,417
		負債の部合計	628,814
固定資産	8,199,904	純資産の部	
基本財産	4,962,807	基本金	10,000
		国庫補助金等特別積立金	3,791,405
		その他の積立金	2,777,567
その他の固定資産	3,237,097	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	2,344,999 (62,155)
		純資産の部合計	8,923,971
		負債及び純資産の部合計	9,552,785
資産の部合計	9,552,785		

ハラスメント研修

相談業務に従事する職員を対象にした研修を開催しました。ベラガイア17☆人材会開発総合研究所代表 梅沢佳裕氏を講師として、福祉施設における三大ハラスメント防止についてご講話いただきました。



宮古厚生園
養護相談員

池村 祐紀
いけむら ゆうき



あけぼの学園
サービス管理責任者

瀬名波 正敏
せなは まさとし

具体的な事例を通して、ハラスメントの基準を確認することができた。

思い込みや日々の言動を振り返るきっかけになりました。

判断基準は難しい面もあるが、一人で解決しようとせず他者に相談することで、感情のコントロールやストレスのコントロール方法についても勉強になりました。

各施設から出される近況・悩みごとの中にはほとんどの施設で共感出来るものも多く、活発な意見交換やアドバイスをし合っている様子が強く印象に残っており、とても心強く感じました。この会で得られたアドバイスを心強さを日頃の業務に活かしながら、また開催された時には再会した皆様とよりよい意見交換が出来るよう精進したいと思います。



新任職員研修

4月24日に開催した新任職員研修では、金城敏彦理事長による「法人の概要」、花城裕康事務局長による「諸規程等について」の講義を行い、特別講師に「職場におけるコミュニケーション・報連相の重要性及びモチベーション研修」と題し、オリブグリーン代表取締役であります山本京子氏による講義を行いました。また、近隣の施設の見学も行いました。受講者の声を紹介します。



具志川厚生園
養護相談員

平安名 努
へんな つとむ

令和8年4月24日に事業団の新任職員になるべく、2回目の新任職員研修を受講しました。私は一度事業団を退職しており、始めて新任職員研修を受講した十数年前の記憶を思い出そうとしましたが、年齢も53歳となり遠い記憶となった今では思い出せません。特別講師によるコミュニケーションとアングーマネジメント術の講演は、仕事を選ばずにどの職種でも必要なスキルであり、組織運営上や私生活でも重要なスキルであると再認識しました。これからもお付き合いのほどをお願い致します。



うるま
生活指導員

玉城 博美
たまき ひろみ

理事長講話では、事業団施設の概要説明及び事業団のあゆみについて学びました。

琉球政府時代の四十六通知に基づき、沖縄県社会福祉事業団が、数々の施設運営を広げ現在に至ることを学びました。事業団という存在意義の大きさを感じながら、自分の日々の行動に責任を持ち、良い支援に繋がっていくよう貢献していきたいと考えています。

特別研修では、圧倒的な人材不足の中で、ケアの質を高める為に限られた人数による支援、チームで支え合う事の大切さや連携による効率化が重要であることを学びました。研修を通して、支援者の基本的姿勢として、技術や言葉による

一方的な支援は、信頼関係の低下に繋がるため丁寧な説明と同意を原則とし、自分自身で選択が決められるよう本人の意思や主体性等、自己決定の尊重を大事に支援していくことを再確認しました。



「沖縄本島での買物学習」

漲水学園
保育士

國場 小夢
こくば こゆめ

24時間テレビ「全国児童養護施設対象GU商品券」の寄付を活用し、令和8年2月に児童11名とイーアス沖縄豊崎店のGUにて買物学習を行いました。宮古島にはないGUでの買物の為、事前にどのような商品があるのかWebサイトを見ながら当日を楽しみにする児童との会話は、職員も楽しみになる程でした。

迎えた当日、飛行機やバスの初利用の児童もいる事からイメトレも行い、無事到着して建物を見上げる子ども達の期待に満ちた表情が印象に残っています。まずは好きな昼食を探して購入し、沢山の人が溢れるフードコートでの昼食後、GUへ。予想以上の品数に戸惑い、欲しい物がいっぱい見つかり、予算満額まで選びきれず等、様々な様子がありました。どの瞬間にも児童の初めての体験があり「金銭教育」「社会性」「自律」「思い出作り」の目的を果たす場面で溢れた一日になりました。各方面へ、この度のご支援に感謝致します。

職員紹介



沖縄療育園
介護員

島尻 奈津子
しまじり なつこ

介護の仕事に興味があり、実務者研修を受講しました。

その研修で出会った講師が沖縄療育園の前介護課長で、重症心身障害という言葉を初めて知り、学びの中で、利用者ひとりひとりの生活に寄り添う支援の大切さや奥深さを知り、沖縄療育園に入職したいと思うきっかけになりました。

入職してからは、想像していたよりも大変で分からないことだらけでしたが、多くの先輩職員に支えられ、少しずつ成長することができ、入職から四年目には介護福祉士の資格を取得しました。

利用者との関わりを通して、多くの事を学び、日々やりがいを感じながら働いています。六年目には正規枠職員となることができました。

これからも利用者が安心して過ごしていただけるよう、ひとりひとりに寄り添った支援を大切に、介護の知識や技術をさらに磨いていきたいと思っています。



就任あいさつ



事務長就任あいさつ

沖縄療育園

事務長

またよし たけひろ
又吉 雄洋



日頃より当園の運営につきましてご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

この度、令和8年4月より事務長職を拝命いたしました又吉と申します。これまで法人内施設で会計業務として7年間、また当園管理課長として7年間勤務し施設運営に携わる業務を担ってきました。

近年、全国的な働き手不足、また物価の高騰等といった要因により、医療・福祉を取り巻く環境も例にもれず厳しいものとなっております。併せて、当園は建物老朽化に伴う改築を検討しており、今後計画を前へ進めていく必要があります。このような様々な課題がある中で、の就任に身が引き締まる思いです。

当園ではサービス提供方針に基づき、利用者一人ひとりの個性や尊厳を大切にし、思いに寄り添い、安心・安全で豊かなあなたらしい生活が送れるよう支援に努めております。今後も利用者一人ひとりに寄り添うというモットーのもと、職員一丸となり、より良いサービスの提供・施設運営を目指して取り組んでいく所存です。併せて、ご家族の皆さま、地域の皆さまとのつながりを大切にし、コミュニケーションを図りながら信頼される施設として築いていけるよう努めてまいりたいと思います。

今後とも皆さまからのご指導・ご鞭撻、そして応援の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

管理課長就任あいさつ

沖縄療育園

管理課長

みやぎ としひろ
宮城 俊廣



この度、沖縄療育園の管理課長に就任いたしました宮城と申します。

これまで出納・給与担当事務員として施設の経理業務や給与関係業務へ携わって参りました。

管理職を担うにあたり、労務管理及び各種委員会への対応等これまで携わったことのない業務が多々あり、事務長をはじめ各課の職員にサポートして頂きながら日々の業務へ励んでおります。

施設の運営に携わるなかで実感していることは、より良いサービスを提供していくためには経営基盤の安定・強化、人材確保・人材育成が必要であると感じております。施設の運営・経営が安定し適切な職員が配置されてこそ、利用される皆さまに充実したサービスが提供できると考えております。

沖縄療育園では施設の老朽化に伴う改築も検討されており、園内に於て改築ありかた検討委員会を立ち上げ改築に向けて検討を進めているところです。事務方を担う管理職として、改築を機に事務員及び各専門職員が効率よく働ける施設・設備の設計に携わり生産性の向上につなげていけたらと考えております。

就任して3ヶ月が経過し、ようやく職員の名前と顔が一致してきたところで毎日があっという間に過ぎていく日々です。不慣れで把握できていない業務も多々ございますが、できることから一歩ずつ頑張っていきたいと思っております。

今後とも、皆様のご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

管理課長就任あいさつ

名護厚生園

管理課長

きんじょう りよへい
金城 涼平



初夏の候、関係者の皆様におかれましては、まずまずご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、名護厚生園の管理課長を拝命いたしました金城涼平でございます。日頃より当施設の運営にご理解とご協力いただき、心より感謝申し上げます。管理課長という大役を仰せつかり、大変光栄に思うと同時に責任の重さを強く感じております。

着任して約3カ月、通勤時の国道58号線の景色を懐かしく思いながら5年ぶりの名護厚生園勤務、お世話になった諸先輩方とまた一緒に仕事が出来ると喜びを感じる日々です。

利用者の皆様が安心して豊かな時間を過ごせる施設環境づくりはもちろんのこと、福祉現場において最も大切な財産は「職員（人材）」にほかなりません。職員に長く誇りをもって活躍していただくために、職場への愛着・信頼、そして貢献意欲であるエンゲージメント向上を重視していきます。また、これまで諸先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎながらも従来の固定概念にとらわれない自由な発想を大切にしていきたいと考えております。

未熟ではございますが、皆様からの信頼に応えられるよう笑顔を忘れず誠心誠意努めてまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

鯉のぼり掲揚式



八重山厚生園
生活相談員

比嘉 尚枝
ひが なおえ

八重山厚生園では、コロナ禍で中断していたしのもり保育園との交流が再開され、4月22日に鯉のぼり掲揚式を行いました。

大小さまざまな鯉のぼりがロープに繋がって、子どもたちの協力で大空に掲げられました。

天候にも恵まれ、青空に元氣よく泳ぐ鯉のぼりに子どもたちの歓声が響いていました。

子ども達からは、島言葉での歌や手遊びの披露、おじいちゃんやおばあちゃんへの肩たたきや背中をくすぐったりと、子ども達との触れ合いに沢山の笑顔が見られました。

初めての交流で緊張している子もおじいちゃん、おばあちゃんからのお礼のお菓子のプレゼントに笑顔もみられ、緊張感も少しずつ和らいだようです。

利用者からは「交流出来て良かった」「楽しかった」との声も頂きました。

今後は、交流事業やイベント等の機会を増やし、利用者たちの楽しみが増え、充実した生活が送れるように取り組んでいきたいと思っています。



地域連携推進会議

北嶺学園
管理課長

譜久山 麻美
ふくやま まま

令和7年度より障害者支援施設北嶺学園及びグループホームほぐれいの運営にあたり、地域と施設等が連携をとり、利用者や地域との関係づくりや地域の方への施設等の利用者に関する理解の促進等を目的として、利用者・家族・地域の方・外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を定期的に開催することが義務付けられました。それに伴い、昨年度は、北嶺学園、グループホームほぐれいと2回会議を開催いたしました。

学園が石嶺地域に設立され、43年。地域の皆様の温かいご支援やご協力を得ながら、今こうして施設運営ができていことにあらためて感謝する機会となり、昔話に花を咲かせ温かい会議となりました。また、グループホームは石嶺団地にあり、団地の皆様とともに団地の一員として協力できることや団地の方にもホームに対する理解促進につながるよう話しあうことができました。



施設だより

首里城復興応援の取組みについて



いしみなね救護園
介護員

奥松 輝子
おくまつ てるこ

昨年の4月、今年の秋頃に首里城が完成するという事を聞いて、いしみなね救護園でも首里城復興を応援する事を何か出来ないかと利用者や話し合いました。みんなができる事は何かと聞いたところ「わからない」「できない」と返答がありました。その中で「まるめ」と声があり、色とりどりの花紙を使って紙まるめをする事になりました。花紙を16分の1に切り分け色ごとに小さく丸めて分けました。模造紙に首里城の絵を描き、いよいよ色付け貼り付けの始まりですが、丸めた紙はいくらあっても足りません。毎日毎日時間がある時に紙丸めを行い、指紋がなくなるんじゃないと思うほど一生懸命に紙丸めに取り組み利用者の姿に感動させられました。昼食時間のわずかな時間に15分程度でしたが「丸めしよう」と一人の利用者が言い出し、他の利用者も自分たちもやるとみんな楽しんでそうに紙丸めを行っている姿を見てとても嬉しく思いました。

貼り付けは一個一個丁寧に並べて貼り付け、ゆっくりゆっくり進めて行きました。利用者にも貼り付けを手伝ってもらい仕上げました。

首里城が燃えてしまった事はとても悲しい事でしたが、復興の応援に取り組み利用者の情熱、紙丸めにかけた一生懸命さに胸を打たれました。いしみなね救護園は首里城復興を一丸となって応援しています。



SNS活動



名護厚生園
作業療法士

渡久地 広行
わたぐち ひろゆき

「まじか！嫌だなあ…」これが広報誌委員会に割り当てられた私の心の声でした。

広報誌作成はネタ探し、写真撮り、原稿作成、レイアウト、印刷、封入、発送など多くの工程が存在します。「皆でやろうね」と言われても現場はソフト勤務で調整するのも時間が掛かる。結局、事務所主体の作業が恒例となっていました。

2025年3月、4厚生園で鹿児島研修に参加させて頂きました。研修先の施設では施設広報にSNSを活用していました。QRコードで確認すると「まじか！凄いなあ」歓喜の心の声でした。「今」の出来事をタイムリーに投稿でき、家族は県外に居ても閲覧可能。写真からは施設の雰囲気や伝わり、ご家族の安心感に繋がる。地域の認知度向上にも一役買っていました。さらには業務負担軽減にコスト削減。

早速名護でも取り入れ、小さな投稿を少しずつ無理なく行っています。浮いたコストで1冊の思い出フォトブックを製作しロビーに展示する事で、SNSに馴染みのない利用者やご家族から好評を頂いています。



私達と一緒に働きませんか？

都屋の里

【看護師募集】

都屋の里の看護業務はご利用者の皆様が毎日を笑顔で安心して過ごせるよう、日々の健康管理に努めています。

主な業務は、毎日の体調チェックや服薬管理、カテーテル管理などの大切な医療ケアです。また、医療機関とのスムーズな連携や往診時の対応、毎日の記録、感染症対策や緊急時の応急処置にもしっかり取り組んでいます。

都屋の里では、一人ひとりの生活にそっと寄り添う丁寧な看護を大切にしています。これからも他のスタッフと力を合わせ、温かい安心をお届けできるように支援してまいります。

1日の業務スケジュール

- 8:00 出勤、日誌等各種確認・対応
- 9:00 処置・排泄状況確認対応
服薬確認・配薬 BOX セット
- 10:00 申し送り、受診準備や調整
処置やバイタル測定等
- 12:00 休憩
- 13:00 処置・排泄状況確認対応
服薬確認・配薬 BOX セット
- 15:00 処置やバイタル測定
日誌等記録入力
- 16:20 準夜勤務者への申し送り
- 16:50 包交車の整備
(ガーゼ補充等、医務室内のゴミ回収等片付け)
- 17:00 退勤



よみたん救護園

【精神保健福祉士募集】

当施設は生活保護受給者の自立を支援する場です。

主な業務：利用者の精神的ケア、生活訓練、地域移行に向けた相談や関係機関との調整です。多職種と連携し、チームで一人ひとりに寄り添う支援を行います。

地域福祉の拠点として、退所後の生活も幅広くサポート。専門性を活かし、笑顔あふれる職場で一緒にやりがいを見つけませんか？

ご応募お待ちしております。



朝の
送り出し



よみたん救護園
管理課長

きんじょう よしひと

金城 善史

1日の業務スケジュール

- 8:30 就労 B 型事業所・地域活動支援センター
通所している入所者の送り出し
- 9:00 朝の申し送り
- 9:30 朝のラジオ体操
利用者の体調確認（主に精神面の確認）
- 10:00 事務作業
福祉事務所への収入申告等
自立支援医療受給者証の新規、更新申請等
障害手帳の新規、更新申請
- 12:00 休憩
- 13:00 入所者の支援計画策定にかかる業務
モニタリング会議の参加
就労継続支援 B 型事業所の見学・調整・情報共有等
グループホームの見学・調整・情報共有等
高齢者施設の見学・調整・情報共有等
精神科医療機関との連携（入所・入院・退院）
- 16:00 就労 B 型事業所・地域活動支援センター
通所している入所者の帰園確認
- 17:15 業務終了

【主にかかわる外部の関係者の人々】

- 福祉事務所のケースワーカー ○相談支援専門員
- サービス管理責任者(就労継続支援 B 型事業所・グループホーム)
- 精神科医療機関の精神保健福祉士(相談員) ○ご家族



地域交流事業

